



新潟県

都岐沙羅

つきさらの風

県民だより
村上・岩船地域版

Vol.10
September.2003



8月14日、新潟県内牧畜センターで行われた「村上牛フェスティバル」は、500人以上の来場者で賑わった。

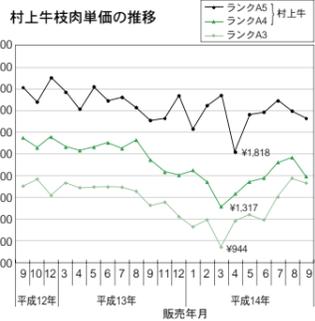


厳しいBSEの影響

BSEが発生した13年の秋から枝肉単価は大きく低下し、5段階評価で最高の5等級(ランクA5)の競り価格で平年2,000円/kgを割ることはなかった「村上牛」が、1,818円/kgまで値下がりました。これにより、飼養戸数は4戸減少し、また飼養頭数は、仔牛を購入する資金の調達が難しくなったことから著しく減少しました。

また、出荷した村上牛の上位等級比率(4等級以上)の占める割合が12年・13年の70%台から64・9%となり、大きく下落したのも村上牛ブランドとしては痛手でした。

その後、検査制度の充実等により14年4月から徐々に価格が回復してきましたが、一度離れてしまった消費者は、なかなか戻ってきてくれません。また、もともと東北地方では牛肉より豚肉を多く食べる傾向があることから、地元での消費量は落ち込んでいます。



安心、安全に向けてがんばっています!

「村上牛」の安心・安全について、常に出荷した牛が競りで高額の成績を修める菅原健一さんにお話を伺いました。

■消費者、より身近に!

問 BSE発生後の変化は?

消費者がより身近に感じられるようになりました。

BSEによって落ち込んだ消費を回復するため、「村上牛フェスティバル」を始め各種イベントで消費者との交流が一段と活発になりました。消費者の皆さんの安心・安全に対する想いなども直接私たち生産者の耳に入るようになって、もっと美味しいものを生産しようと、がんばる意欲が湧いてきます。

■安全な統一飼料を作りました!

問 安心・安全の対応の取組は?

追跡できる体制ができました。現在、「村上牛」では、品質の均一化を目指して統一の配合飼料を作り、村上牛生産者全員が使えるよう、試験を行っています。

この統一配合飼料は、遺伝子組み替えをしていないと証明できる原料だけを使ったものです。安心して与えられるように、いつ、どこで、どのように作られたのかを追跡できる仕組み「トレーサビリティ」を飼料にまでも取り入れることで、他の産地の牛肉より優位につけることができます。



■丹誠込めて育てています!

問 今後の抱負は?

今までどおり、牛の健康に十分注意して出荷までの約2年間、丹誠込めて育てていくことです。

また、「村上牛」というブランドは、業界ではまだまだ、生産者の独りよがりブランドですが、これを全国の消費者から求められる消費者本位の本当のブランドにしたいですね。

◎「村上牛」の歴史

岩船地域の和牛飼育の歴史は古く、それなりの品質評価を得ていましたが、生産者それぞれが独自に工夫を重ねた飼育方法だったため評価にばらつきがありました。また一方では、牛肉輸入自由化、消費者の高級志向の高まりなど、社会情勢の変化に伴い一層の品質向上、均一化が求められていました。

このような状況に対応するため、平成元年3月1日に岩船地域の生産者、農協が主体となって「村上牛生産者協議会」が結成され、肉質向上のための取り組みを行い、厳しい品質基準をクリアしたものに付けられる銘柄を「村上牛」として、東京都食肉卸売市場に初出荷しました。

その後、平成8年からは、安定供給を目指す村上地域生産者と、品質が高い割にはブランド名が無いために価格が上らない黒川村の生産者が、互いの利益のため協力することとし、現在の生産基盤体制ができました。

またその年、今までのためゆまない研究と努力により、全国肉用牛枝肉共励会で8頭出荷したうちの1頭が最高位の「名誉賞」(全国1位)に輝き、他の5頭も入賞するという全国でも例のない快挙を成し遂げました。

そして現在、テレビ等でも度々話題となる最高級ブランド「村上牛」として、皆さんご存知の美味しい牛肉となっているわけです。

◎おすすめの食べ方

村上牛は肉質を保つため冷凍では流通していません。家庭でも冷蔵かチルドで保存し、ステーキなら焼く10〜30分前に室温に出し、霜降りの脂のとけたところが焼き頃です。



「村上牛」の商標の六角形のマークは、新潟県の「雪」の結晶のイメージを形取っています。

皆さんの住んでいる集落の魅力は何ですか？ 地域活性化の「種」を探します

村上地域振興事務所では、地域活性化の「種」を見つけるため、当地域内7市町村にある約330集落の基礎調査を実施します。皆さんが住んでいる集落を見つめ直し、埋もれている資源等を掘り起こして今後の地域振興策に活かそうというものです。現在、商工・農業・福祉・民俗・教育等の各分野の民間有識者と行政による委員会が調査項目などの内容や方法について検討をしています。検討後は、市町村の協力を得ながら試行的に10箇所程度の集落を調査する予定です。その結果を見ながら、残りの集落の調査を進め、おおよそ2年で完了して冊子にまとめることとしています。まとめた各集落の情報は、地域づくり等に活動している団体や個人等が地域活性化に有効に使えるよう、公開して行く予定です。

○問い合わせ：村上地域振興事務所 地域振興課 TEL52-7230

新しい「市」を目指して！ 市町村合併に対する取組を支援しています

7月30日に関川村を除く岩船広域地域の6市町村で法定合併協議会(※1)が設置され、平成17年3月末までに新設による合併を目指すこととなりました。県では、合併に向けて着実に協議が進むよう当地域を合併重点支援地域(※2)に指定するとともに、関係する地域機関で構成された合併支援本部村上地域支部を中心に、新しい市の建設計画に対して支援をしたり、国や県の事業の調整を行ったりしていきます。具体的な支援としては、道路建設などの県事業を優先的に進めることや合併シンポジウムの開催(※3)や広報紙等を通して情報提供などの取組を行います。

○問い合わせ：村上地域振興事務所 地域振興課 TEL52-7230

※1 これから合併をしようとする市町村が、合併を行うこと自体の可否も含めて、合併に関するあらゆる事項の協議を行う組織のことで、合併特例法に規定されており、合併特例法の財政措置を受けるためには、この組織の設置が必要とされています。

※2 8月8日現在、県内の合併重点支援地域は合計で11地域58市町村となっています。

※3 平成15年10月18日(土) 午後1時30分～ 朝日村文化会館にて開催予定です。

構造改革特区って何？ 規制緩和により新しい事業を育むものです

構造改革特区とは、地方公共団体や民間事業者(企業、団体、NPO)などが、これまでの規制にとらわれない新しいアイデアの事業を提案することにより、特定の地域内に限定して規制の特例(規制の緩和)を設け、新たな事業を掘り起こすことで地域経済を活性化させることを目的とするものです。これまでに、全国で117の特区が認定され、県内では東頸城郡6町村による「東頸城農業特区」や県による「新潟県アグリワークサポート特区」の2つの特区が誕生するなど、民間事業者による新たな事業参入や、新しい事業の誕生による地域経済の活性化が期待されています。

【東頸城農業特区】

農地法の規制により、農業生産法人以外の法人(株式会社など)が農地を借りて農業経営をすることはできなかったが、特例により株式会社が農地を借りて農業経営に参入できる。《効果》過疎化・高齢化が進む中、新たな農業の担い手を確保できる。

【新潟県アグリワークサポート特区】

職業安定法の規制の特例を活用して、新潟県農業大学校が在校生に対して無料で職業紹介を行うことができる。《効果》学生に対して適切な進路相談が可能となり、就農を含めた卒業後の進路が安定するとともに、農業労働者の需給調整機能強化が図れる。なお県では、企業、団体、NPOなどの民間事業者から構造改革特区や規制緩和の意見や提案を広く募集しています。

詳しくは、国の構造改革特別区域推進本部のホームページ(<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kouzou2/index.html>)をご覧ください。県庁内：総合政策部企画課 TEL 025-280-5087 FAX 025-280-5507

第15回全国農業青年交換大会

岩船地域現地交流会が開催

「田園風景」と「笹川流れ」の旅をキャッチフレーズに

ろくっしゅぶのメンバーはこの日のために、関係機関・団体と連携のもと、1年以上前から準備を進めてきました。交流会コースのキャッチフレーズは「田園風景と名勝「笹川流れ」の旅」。交流会の内容は、1泊2日という短い時間の中で岩船地域の農業、特産、自然を理解してもらえるようにとみんなで考えました。



①初日は、やっぱり「岩船米」からでしょう！

初日の24日は、米どころのシンボル、JA神林村の巨大なカントリーエレベーターを見学し、「岩船米」の品質向上に向けた取り組みを紹介。



▲JA神林村のカントリーエレベーターを背景に記念写真

これからの日本の農業を私たちが担っていきます!!

④「胸がいっぱい…」 来年の再会を誓って

引き続き行われた閉会式では、主催者を代表して、ろくっしゅぶ会長の船山一広さんがあいさつし、「言いたいことはたくさんありますが、胸がいっぱいで何も言えません…」と、感極まった様子。最後に、来年の全国大会会場となる熊本での再会を誓い合って現地交流会は終了し、全国の農業青年たちは岩船地域を後にしました。

③眠気吹き飛ばす？ 鮭をめぐる伝統文化

翌25日は、昨夜の交流会から引きずった睡魔を振り払いながら、村上市にある日本初の鮭の博物館「イヨボヤ会館」を見学。ミニふ化場や生態観察室では、生きた鮭の生態を間近で観察。また、鮭を中心に魚についての豆知識をゲームで学んだり、江戸時代から続く村上特産の鮭の歴史や文化をビデオで見たりしました。



村上市イヨボヤ会館にて▶



船山会長

=交流会を終えて=

受け入れ準備は大変でしたが、全国に農業を志す仲間の「わ」が広がり、また多くの人に「ふるさと岩船」を知ってもらえることができ、とても有意義な交流会でした。これを励みに「ろくっしゅぶ」一同、地域農業の担い手として今後とも頑張ります。

「広げよう友情の『わ』新潟から未来へ！」をスローガンに、次代の日本農業を担う全国の農業青年が一堂に会し交流を深める、第15回全国農業青年交換大会が7月23日から25日、新潟市の朱鷺メッセを主会場に開催されました。

そのオプションツアーとして24・25日の2日間、現地交流会が県下8地域で開催され、岩船地域へも全国から約70人の農業青年が訪れ、地元の農業青年グループ「ろくっしゅぶ」(会員数20人、船山一広会長)と交流を深めました。

全国から約70人の 農業青年が岩船地域に集合!!

その後、笹川流れを眺めながら北上し、山北町「交流の館 八幡」へ。ここでは朝日村特産の繭を用いた「まゆの花」づくりを体験。体長7～8センチのカイコの幼虫も展示される中、「まゆの花の会」のインストラクターに手解きを受け、四苦八苦しながら繭を使った造花を上手に作り上げていました。参加者からは「きれいで、とてもかわいらしくて、良い記念品になります。」と、大好評でした。



▲全員で「まゆの花」づくりに挑戦

かわいらしくできました▶

②交流は賑やかに お酒でも飲みながら

夕方からは、同所の多目的ホールで「交流の夕べ」が行われ、地元のご婦人方による郷土料理や地元で取れた新鮮な海産物、ワラビ・ミズナなどの山菜類、村上牛の串焼き、岩船産コシヒカリのおにぎり等のごちそうに舌鼓を打ちつつ、地酒を酌み交わしながら一層の交流を深めました。熊本県から参加した20歳の男性は、「(岩船地域は)本当に米がうまい。また、村上牛や海産物など食材も豊富でおいしい。自分の地域も全国に名前が知れ渡るような食材を努力して作っていきたい。」と、岩船地域の食材の豊富さ、おいしさを納得したかのようにうなずきながら話してくれました。



▲交流の夕べでは心のこもった郷土料理が

また、地元山北町の郷土芸能「日本国太鼓」の演奏も行われ、躍動感あふれる力強い太鼓の音色に、皆さんが聞き惚れていました。時間のたつのも忘れ興奮冷めやらぬまま、明日に備えて同所にて宿泊。就寝となりました。



交流の夕べで情報交換▶

第2日目

当日、トンネルの岩船側入り口前では、お祝いの潮太鼓の演奏や交通安全を祈願した神事が執り行われ、午前11時から村上市長や副知事を含めた関係者約1000人の出席でテープカット等の開通記念式典が行われました。その後、関係者等がトンネルの歩道を松山側に向かって歩き、車道では2車線とも順調に自動車流れ始めました。



思い出の潮太鼓の演奏



トンネルの両側の入り口の上方には『瀨波温泉トンネル』の銘板が設置されています。これは地域の子供たちに愛着を持ってもらおうと、岩船側の銘板は岩船小学校の渡辺健太郎くん、加藤彰くん、五十嵐茉莉さん、津島美紀さんの4人に、松山側は瀨波小学校の石川舞理奈さんにそれぞれ書いてもらった題字を原書として作られています。



岩船側銘板



瀨波側銘板

この近隣には海水浴場や温泉施設などの観光施設も多く、トンネルの開通により岩船地区及び瀨波温泉地区の交通状況の大幅な改善が行われ、海水浴シーズンの渋滞の緩和や観光地としてのイメージアップにつながることを期待しています。

効果は？ 海水浴シーズンを快適に 交通量の変化については、開通前の6月から開通後の9月まで適宜交通量調査を行っており、交通量の変化を確認します。また、ドライバーに対するアンケート調査により意見聴取も行う予定です。



海開きを翌日に控えた7月14日、軟弱地盤等の理由により2度に渡って工事の中止を余儀なくされ、10年という年月を経た望みの瀨波温泉トンネルが開通しました。このトンネルは岩船地区内と松山地区内をつなぐもので、長さ1,045m、幅11・75mで2車線の車道と片側に広い歩道が設置されています。



瀨波温泉トンネルが開通

岩船地区と瀨波地区とを結ぶ道路の開通により
通勤、通学、観光の利便性がグンと高まる！

ついに完成 10年を経て

地域情報板

◎お気軽にご利用ください！

地域づくり活動や地域内の情報収集などを支援する「まちづくりハウス」ができました



岩船地域ニューにいがた里創プラン事業の補助を受けて「まちづくりハウス」の第1号が山北町勝木にある交流の館「八幡」内にオープンしました。

まちづくりハウスとは、民間で設置・運営するまちづくり支援センターとして地域に密着し、住民の皆さんが気軽に住民活動に参加するためのお手伝いや、現在活動中の方々が一層活発に活動できる環境づくりのお手伝いなど、「地域の交流サロン」（みんなの茶の間）を目指した施設です。

地域で活動をしたい方、又は活動を既に行っている方が、住民活動に必要な情報の収集やパソコンを活用したチラシ・資料の作成、会議をする場所として利用ができるスペースの提供を行っています。（利用に際しては一部有料となるものもあります。）

今後は、住民活動やイベントが順次開催される予定ですので、山北町へお出かけの際は気軽に皆さんの茶の間に寄ってみてください。

なお、交流の館「八幡」にはその他に、お食事処「かがり火」や温泉「八幡の岩風呂」、宿泊の施設等もありますので、こちらもおご利用ください。（有料）

○開館時間 午前8時30分～午後9時30分

○休館日 毎月第4月曜日（ただし、月曜日が祝祭日の場合はその翌日に休館）
1月5日～1月10日

▶問い合わせ 山北町大字勝木1099番地 交流の館「八幡」
TEL 60-5050 FAX 60-5151



◎森林研究所一般公開イベント

『きのこ鑑定と炭焼き体験』などを行います

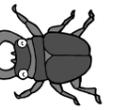
- 日時：10月4日(土) 午前10時～午後3時
- 場所：森林研究所（朝日村鶴渡路2249番地5）
- 内容：・新品種きのこ試食会
雪ぼうし（エノキタケ）、越のわらべ（ブナシメジ）
・野生きのこ展示と鑑定の仕方
・樹木当てクイズ（カブトムシの幼虫が景品です）

○入場料：無料
○申込み：予約不要 ※ただし、団体の場合は事前にご連絡ください。
▶問い合わせ 新潟県森林研究所 TEL 72-1171



◎にいがた「緑」の百年物語緑化推進委員会岩船支部主催 『森林観察会』を開催します

- 樹木や昆虫などの説明を講師から聞きながら、森の散策を楽しんでみませんか。
- 日時：10月11日(土) 午前9時～12時
- 場所：村上市瀨波温泉「県民いこいの森」
- 対象者：小学生及び保護者（低学年は保護者同伴をお願いします。）
- 定員：30人程度
- 参加費：無料
- 申込み：9月26日(金)までに村上地域振興事務所 地域振興課までお申込みください。
TEL 52-7231 FAX 52-1316



◎第44回 岩船林業振興祭が開催されます

- 日時：10月16日(木) 午前9時30分～
- 会場：荒川町公民館（式典会場 午前9時30分～）
グリーンパークあらかわ総合運動公園内（植樹会場 午前11時～）
- 内容：緑化功労者表彰等式典、コナラ等植樹
- ▶問い合わせ 荒川町 農政課 TEL 62-3101
村上林業事務所 林業振興課 TEL 52-7935

◎お気軽にご利用ください！

岩船農業改良普及センターでは、10月まで水稲・大豆の育成状況と管理について、タイムリーな情報をテレホンサービスでお届けしています。

0254-52-1004

24時間利用可能です。
是非ご利用ください。

時期	内容
9月	水稲の収穫
10月	大豆の収穫

◎訂正します◎

7月15日発行の9号の記事の一部を下記のとおり訂正させていただきます。

【訂正箇所】

①2ページ「知事とのふるさとを考える集い」の記事で、斉藤章さんの瀨波病院存続等の質問に対する知事の回答。

《訂正後》

県立瀨波病院については、リウマチセンターを新しく建設する新発田病院に併設移転します。移転後の瀨波病院については、厚生連から譲り受けたいという申し入れがあり、県では、これらにより当地域の医療水準は高まるものと考えています。最終的な判断に向けて皆様のご意見をいただきたいと思ひます。

②4ページ「地域情報板」の「のら猫や捨て猫の扱い」で、問い合わせ先の電話番号。

《訂正後》 53-8371

「つきさらの風」通巻10号

この広報紙について、皆様のご意見、ご感想、ご要望がありましたら下記までお寄せください。

発行

村上地域振興調整会議
事務局 新潟県村上地域振興事務所 地域振興課
〒958-8585（※）村上市田端町6番25号
TEL 52-7230 FAX 52-1316
電子メール t02101a5@mail.pref.niigata.jp
（※）郵便番号を記入すると住所は省略できます。

生活に身近な、質問コーナー

質問
遺産相続の手続きで、相続予定の森林が、保安林に指定されていると聞いたのですが、「保安林」って何ですか？

答え
（村上林業事務所 施設課）
森林は自然災害を防ぐだけでなく、清らかな水と空気をつくり、心に安らぎを与えるなど様々な役割を担っています。その中でも私たちの暮らしを守るため、特に重要な役割を果たす森林の機能を低下させないよう、伐採などの制限をして適切に管理していること、国や県が指定した森林が「保安林」です。

▽保安林の種類
役割に応じて全部で17種類あります。地域にはその内の10種類あり、民有林面積の25%（約一万五千ヘクタール）を占めています。例えば、皆さんよくご存知の神林村のお幕場は「防風保安林」で、その目的は家屋や田畑などを風から守ることです。他にも、降った雨を地中に蓄えて川に流れる水量の変化を抑え、洪水や渇水を防ぐ「水源かん養保安林」などがあります。

▽保安林の規制
保安林に指定された森林は、その役割を果たし維持していくため、立木を伐採する場合等に許可や届出を行わなければならない制限を受けます。

▽保安林の特典
固定資産税や相続税等が免除されたり減額されたりします。また、必要に応じて治山事業により全額公費負担で、森林の整備等が行われます。

▼所有している保安林についての相談は、お気軽に村上林業事務所 施設課 TEL 52-7937へお問い合わせください。

◎平成15年度 新潟県障害者技能競技大会 参加者募集

開催日：11月9日(日)
会場：新潟県障害者交流センター（新潟ふれ愛プラザ内）

競技種目：ワードプロセッサ（一般部門10名、視覚障害者部門5名）、パソコン表計算10名、縫製（知的障害者に限る）5名

申込方法：参加を希望する方は、左記へ申込ください。
〒950-0087 新潟市東大通1の1の1 三越プラザ共同ビル7階
（社）新潟県雇用開発協会
TEL 025-241-3123

申込切：9月30日(火)
TEL 025-280-5263

問い合わせ 新潟県職業能力開発課
TEL 025-280-5263

国内における青年技能者の「技能日本一」を競う「技能五輪にいがた ゆめ・技・モノがたり2003」が開催されます。この機会に協議に挑む若者の真剣な姿に触れたり、自らモノづくり体験にチャレンジするなど、存分にお楽しみ下さい。もちろん、入場無料です。

期日：10月24日(金)～27日(月)
うち25日(土)と26日(日)は、競技・併催イベント

会場：朱鷺メッセなど新潟市内5会場

競技種目：旋盤、広告美術、理容など34種目

参加選手：900名(見込)

来場者：延べ10万人(見込)

※各会場間を無料シャトルバスが巡回

問い合わせ 新潟県職業能力開発課
技能五輪推進室内「技能五輪にいがた・ゆめ・技・モノがたり2003推進協議会事務局」
TEL 025-280-5218
FAX 025-280-5748

◎第41回 技能五輪全国大会が新潟で開催

新しく法人（株式会社や有限会社など）を設立した場合、または法人の代表者や所在地、資本金などの内容に変更があった場合には届出が必要で、届出用紙は、県税事務所の窓口で用意されています。また、県のホームページ（http://www.pref.niigata.jp/kenzei/077/）から印刷して使用することができます。忘れずに提出をお願いします。

問い合わせ 村上県税事務所
課税課 TEL 52-7921

◎「納税証明書」の請求について
納税証明を請求する際は、次の点に注意してください。

○何に使うかハッキリと
・使用目的に応じた納税証明書が交付されますので、何に使うかを明確にして来てください。

○持参してください
・印鑑（認印で結構です）
・新潟県収入証紙1件につき400円（銀行で購入して来てください。税目毎、年度毎に証明書が必要な場合は、それぞれ毎に1件となります。）
・身分を証明するもの（運転免許証等）
・その他：ご本人又は同居のご家族以外の方が請求される場合は、ご本人の印鑑証明書添付した委任状を持参ください。

《法人の場合》
・代表者印
・新潟県収入証紙1件につき400円（銀行で購入して来てください。税目毎、年度毎に証明が必要な場合は、それぞれ毎に1件となります。）

《個人の場合》
・印鑑（認印で結構です）
・新潟県収入証紙1件につき400円（銀行で購入して来てください。税目毎、年度毎に証明が必要な場合は、それぞれ毎に1件となります。）

○その他
・「納税証明書」の用紙は、県税事務所の窓口で用意してあります。また、県のホームページ（http://www.pref.niigata.jp/kenzei/077/）から印刷して使用することができます。

問い合わせ 村上県税事務所
課税課 TEL 52-7922

法人の設立・変更等の届出は忘れずに

新しく法人（株式会社や有限会社など）を設立した場合、または法人の代表者や所在地、資本金などの内容に変更があった場合には届出が必要で、届出用紙は、県税事務所の窓口で用意されています。また、県のホームページ（http://www.pref.niigata.jp/kenzei/077/）から印刷して使用することができます。忘れずに提出をお願いします。

問い合わせ 村上県税事務所
課税課 TEL 52-7921

◎「納税証明書」の請求について
納税証明を請求する際は、次の点に注意してください。

○何に使うかハッキリと
・使用目的に応じた納税証明書が交付されますので、何に使うかを明確にして来てください。

○持参してください
・印鑑（認印で結構です）
・新潟県収入証紙1件につき400円（銀行で購入して来てください。税目毎、年度毎に証明書が必要な場合は、それぞれ毎に1件となります。）
・身分を証明するもの（運転免許証等）
・その他：ご本人又は同居のご家族以外の方が請求される場合は、ご本人の印鑑証明書添付した委任状を持参ください。

《法人の場合》
・代表者印
・新潟県収入証紙1件につき400円（銀行で購入して来てください。税目毎、年度毎に証明が必要な場合は、それぞれ毎に1件となります。）

《個人の場合》
・印鑑（認印で結構です）
・新潟県収入証紙1件につき400円（銀行で購入して来てください。税目毎、年度毎に証明が必要な場合は、それぞれ毎に1件となります。）

○その他
・「納税証明書」の用紙は、県税事務所の窓口で用意してあります。また、県のホームページ（http://www.pref.niigata.jp/kenzei/077/）から印刷して使用することができます。

問い合わせ 村上県税事務所
課税課 TEL 52-7922

北朝鮮による拉致事件の真相解明は県民の願い
横田めぐみさんたちの真相解明と蓮池曾我さんのご家族の早期帰国を求めます。